

第3編 まとめ



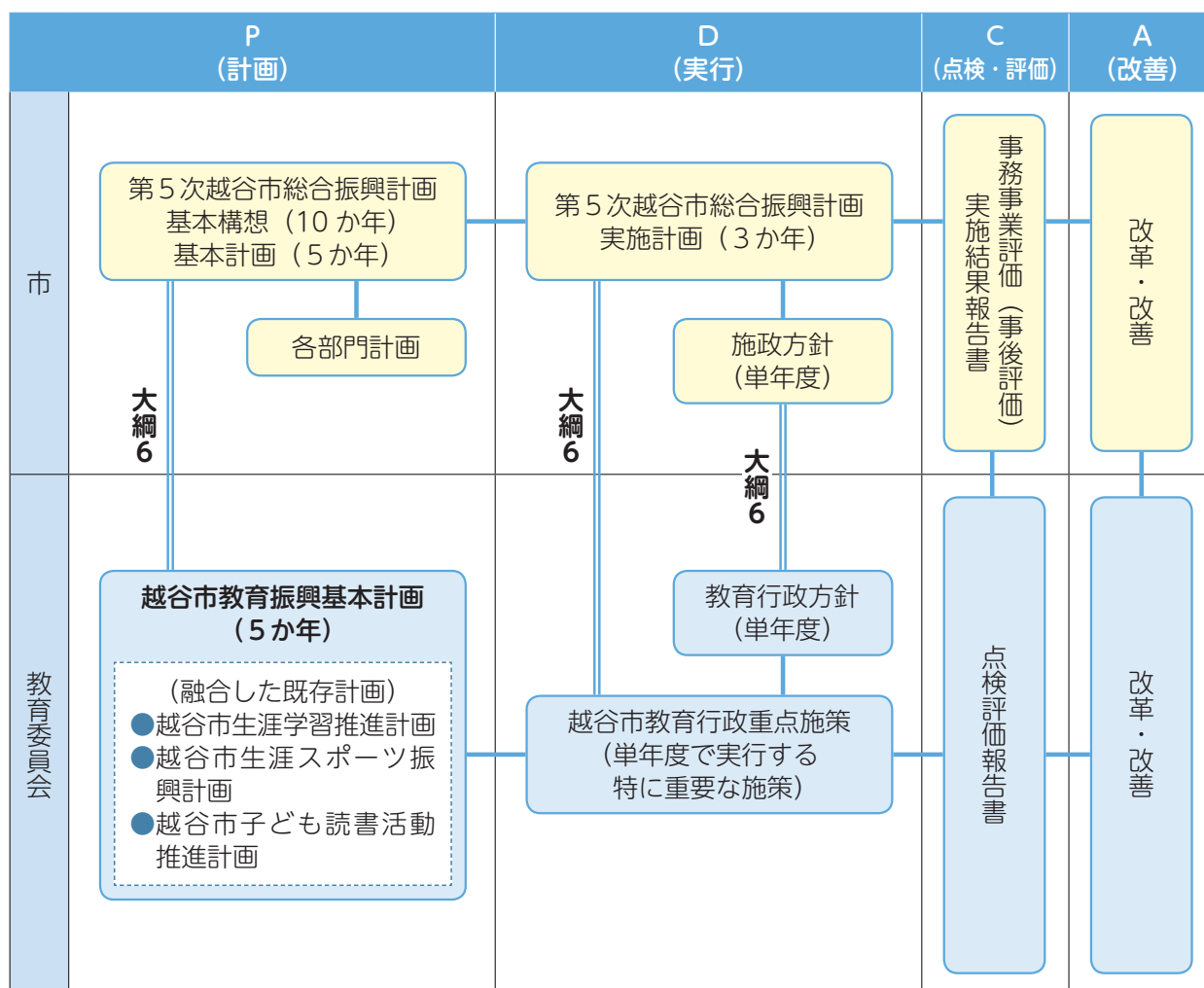
第1章 計画の推進

1 計画の進行管理、点検・評価

本計画に基づき教育行政を推進するにあたっては、P（Plan：計画）、D（Do：実行）、C（Check：点検・評価）、A（Action：改善）というPDCAのマネジメントサイクルのもと、進行管理、点検・評価を実施し、これらの活用を十分に図り、次年度の具体的な事業を検討することが必要です。

したがって、本計画では、基本目標ごとに可能な限り分かりやすい指標を設定します。これらの指標を施策の目的達成に対する目安としながら施策の成果を検証します。また、施策の推進にあたっては、数値目標の達成のみにとらわれることなく、市民満足度として当事者や参加者の意欲向上につながるような視点での点検・評価ということも十分配慮するよう留意します。

こうした点を踏まえた取り組みにより、効果的な教育行政の推進を図り、市民への説明責任を果たすとともに、計画の進行管理を行っていきます。



2 指標一覧

第5次越谷市総合振興計画前期基本計画の「めざす姿に関連する達成指標」および「施策の方向性」に掲げる指標を掲載します。

各指標では、令和元年度（2019年度）末の現況値と計画最終年度となる令和7年度（2025年度）における目標値を掲げて、毎年度進捗状況を確認することで、施策の目的達成に対する目安としながら施策の成果を検証します。

（基本目標1）生きる力を育む学校教育を推進する

■施策の方向1 9年間を見通した越谷教育を推進する

指標名	R元年度末現況値	R7年度末目標値
学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	小学校：88.2% 中学校：85.8%	小学校：95.0% 中学校：90.0%
〔説明〕越谷市「授業改善・学校生活アンケート調査（児童生徒用）」における「学校に行くのは楽しいと思うか」という項目で、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合について、小学校95%、中学校90%を目標とする。 ※現況値は第2期小中一貫教育に向けた意識調査類似設問の参考値		
授業で学んだことを、生活場面や他の学習に生かしている児童生徒の割合	小学校：86.8% 中学校：82.3%	小学校：90.0% 中学校：87.0%
〔説明〕越谷市「授業改善・学校生活アンケート調査（児童生徒用）」における教科等横断的な視点である「授業で学んだことを、生活場面や他の学習に生かしているか」という項目で、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合について、小学校90%、中学校87%を目標とする。 ※現況値は平成31年度全国学力・学習状況調査質問紙類似設問の参考値		
小中一貫型小中学校の整備校数	—	累計3校
〔説明〕小中一貫型小中学校の整備について、累計3校を目標とする。		

■施策の方向2 確かな学力を育む

指標名	R元年度末現況値	R7年度末目標値
授業では、「考えてみたい」「やってみよう」と感じ、進んで課題に取り組んでいる児童生徒の割合	小学校：83.0% 中学校：82.8%	小学校：90.0% 中学校：87.0%
〔説明〕越谷市「授業改善・学校生活アンケート調査（児童生徒用）」における「授業では、『考えてみたい』『やってみよう』と感じ、進んで課題に取り組んだか」という項目で、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合について、小学校90%、中学校87%を目標とする。 ※現況値は平成31年度全国学力・学習状況調査質問紙類似設問の参考値		
全国および埼玉県学力・学習状況調査において、平均正答率を上回った教科区分数	17教科区分	18教科区分
〔説明〕全国学力・学習状況調査については全国平均正答率を、埼玉県学力・学習状況調査については全県平均正答率を18教科区分すべてで上回ることを目標とする。 ※教科区分…全国：小6国語算数、中3国語数学の4教科区分 県：小4～6国語算数、中1～3国語数学、中2・3英語の14教科区分		
教員のICT指導力等の実態調査における授業中にICTを活用して指導する能力	76.4%	90.0%
〔説明〕文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」における「児童生徒のICT活用を指導する能力」という項目で、「できる」「ややできる」と回答した割合について、90%を目標とする。		

■施策の方向3 豊かな心を育む

指 標 名	R 元年度末現況値	R 7年度末目標値
自分には、よいところがあると感じている児童生徒の割合	小学校：84.4% 中学校：79.3%	小学校：90.0% 中学校：85.0%
〔説明〕 越谷市「授業改善・学校生活アンケート調査（児童生徒用）」における「自分にはよいところがあると思うか」という項目で、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合について、小学校 90%、中学校 85%を目標とする。		
人権教育研修会における教職員の参加率	100%	100%
〔説明〕 教職員の指導力向上を目的とした各種研修への参加率について、100%を維持することを目標とする。		

■施策の方向4 健やかな体を育む

指 標 名	R 元年度末現況値	R 7年度末目標値
新体力テスト 8 項目中 5 項目以上において、個々の目標を達成した児童生徒の割合	49.4%	55.0%
〔説明〕 新体力テストについて、県が掲げる目標値 55%を目標とする。		
栄養教諭等による食に関する指導を実施したクラスの割合	98.0%	100%
〔説明〕 栄養教諭等による食に関する指導（「給食時間の指導」または、「ティーム・ティーチング（共同授業）」）を実施したクラスの割合について、100%を目標とする。		

■施策の方向5 自立する力を育む

指 標 名	R 元年度末現況値	R 7年度末目標値
特別支援学級設置率	64.4%	90.0%
〔説明〕 市内小中学校の特別支援学級の設置割合について、90%を目標とする。		
不登校発生率	小学校：0.38% 中学校：3.20%	小学校：0.28% 中学校：2.95%
〔説明〕 不登校により年間累計 30 日以上欠席した児童生徒の割合について、小学校 0.28%、中学校 2.95%を目標とする。		

■施策の方向6 質の高い教育環境を整備する

指 標 名	R 元年度末現況値	R 7年度末目標値
研修受講者アンケートにおいて「大変分かりやすかった」と回答した教職員の割合	85.1%	95.0%
〔説明〕 教職員を対象としたアンケート調査における「研修の内容は分かりやすかったか」という項目で、「大変分かりやすかった」と回答した割合について、95%を目標とする。		

(基本目標2) 生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する

■施策の方向1 生涯にわたる学びを進める

指 標 名	R元年度末現況値	R7年度末目標値
市が主催する各種学級・講座の参加者数	年間 2万 9,968 人	年間 3万 8,000 人
〔説明〕 市が主催する各種学級・講座の参加者について、年間 3万 8,000 人を目標とする。		
科学講座における新規事業の割合	15.0%	25.0%
〔説明〕 科学講座における新規事業の割合について、25% を目標とする。		
蔵書冊数	累計 66万 2,000 冊	累計 70万冊
〔説明〕 図書館等の蔵書について、累計 70万冊を目標とする。		

■施策の方向2 文化活動を充実し、郷土の歴史を継承する

指 標 名	R元年度末現況値	R7年度末目標値
市が主催する芸術文化活動等の出品者数・参加者数	年間 4,576 人	年間 5,000 人
〔説明〕 文化総合誌「川のあるまちー越谷文化」、越谷市美術展覧会、越谷市民文化祭などにおける出品者および参加者について、年間 5,000 人を目標とする。		
こしがや能楽堂における主催事業の来場者数	年間 2,485 人	年間 3,000 人
〔説明〕 こしがや能楽堂にて実施する主催事業の来場者について、年間 3,000 人を目標とする。		
文化財活用事業の参加者数	年間 6,999 人	年間 7,300 人
〔説明〕 文化財を知ってもらうために実施する事業への参加者について、年間 7,300 人を目標とする。		

(基本目標3) 生涯にわたリスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる

■施策の方向1 健康ライフスタイルづくりを支援する

指 標 名	R 元年度末現況値	R 7年度末目標値
スポーツ・レクリエーション活動を週1回以上行う成人市民の割合	42.5%	50.0%
〔説明〕 市政世論調査における「スポーツ・レクリエーション活動の実施状況」という項目で、「週に1回以上」活動を行ったと回答した割合について、50%を目標とする。		
プロスポーツ等の試合開催日数	年間 21 日	年間 21 日以上
〔説明〕 総合体育館、越谷市民球場、しらこぼと運動公園競技場で開催されるプロスポーツ等の主催試合の開催について、年間 21 日以上を目標とする。		

■施策の方向2 スポーツ・レクリエーション活動を支援する環境の充実を図る

指 標 名	R 元年度末現況値	R 7年度末目標値
スポーツリーダーバンク登録者数	累計 98 人	累計 125 人
〔説明〕 スポーツ・レクリエーション活動の指導者であり、各種スポーツ大会の担い手となる人材の登録者について、累計 125 人を目標とする。		
主要体育施設の利用者満足度	96.3%	100%
〔説明〕 総合体育館、越谷市民球場、しらこぼと運動公園競技場の利用者アンケートの総合評価（満足以上の平均割合）について、100%を目標とする。		
体育館の利用者数	年間 46 万 6,279 人	年間 50 万人
〔説明〕 市内における体育館の利用者について、年間 50 万人を目標とする。		